



Imperva SecureSphere Web Application Firewall

データシート

重要な Web アプリケーションとデータを保護

Web アプリケーションはアクセスが容易であり、これを拠点に機密データを搾取しやすいため、サイバー攻撃の主なターゲットとなります。組織はサイバー攻撃に対応するために、アプリケーションのパフォーマンスや稼働時間に悪影響を与えることなく、既存および最新のサイバー脅威から Web サイトやアプリケーションを保護する必要があります。

多くの企業が、大切な Web アプリケーションの保護のために、他のベンダではなく Imperva に信頼を寄せています。Imperva の Web アプリケーションに対するセキュリティ・ソリューションは、物理、仮想、およびクラウドベースのデータセンタにシームレスに適合します。世界に名高い Imperva アプリケーション・ディフェンス・センタの研究チームが監修している脅威インテリジェンスで常に更新される、市場で最も高度な Web アプリケーション・セキュリティを提供します。

Imperva SecureSphere Web Application Firewall

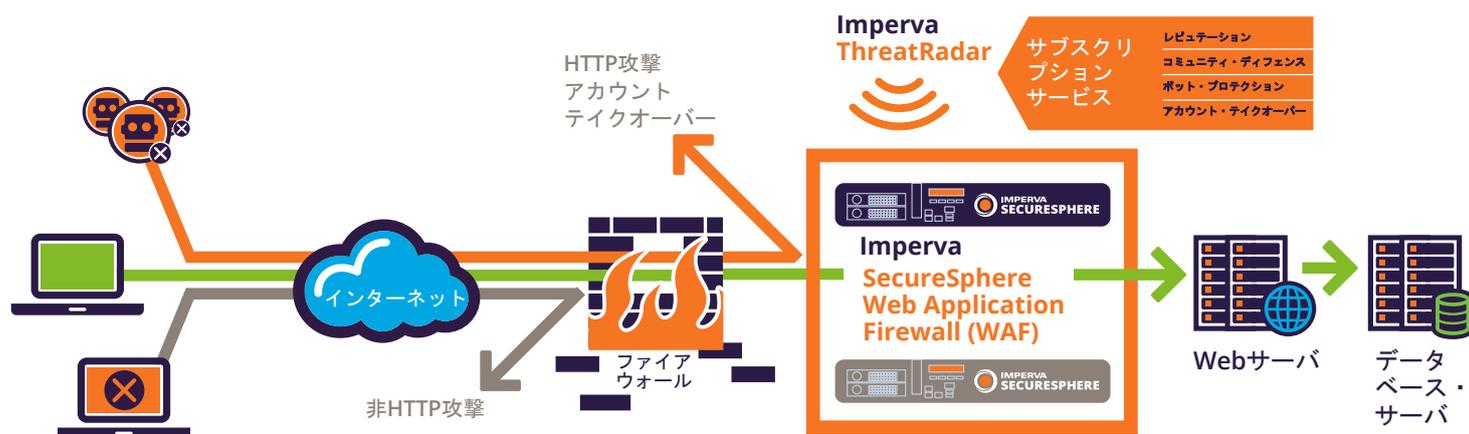
SecureSphere Web Application Firewall は、お客様のビジネス・クリティカルな Web アプリケーションへのすべてのユーザ・アクセスを分析し、アプリケーションとデータをサイバー攻撃から保護します。SecureSphere Web Application Firewall は、お客様のアプリケーションの「通常」の動作を学習し、これを、世界中からクラウドソースされ、保護のさらなる強化のためにリアルタイムで更新されている脅威インテリジェンスと相関検証します。

Imperva は Gartner の Magic Quadrant for Web Application Firewalls においてリーダーの 1 社として位置づけられています。¹ 業界をリードする SecureSphere Web Application Firewall は、(従来の防御ではすり抜けてしまう) Web トラフィックに悪意を持って忍ばされた危険を識別し、対処します。これにより、SQL インジェクション、クロスサイト・スクリプティング、リモートファイル読み込みなどのアプリケーション脆弱性攻撃や、サイト・スクレイピング、コメント・スパムなどのビジネス・ロジック攻撃、ボットネットおよび DDoS 攻撃、リアルタイムでのアカウント・テイクオーバーなどを事前に回避します。

SecureSphere Web Application Firewall は、お客様のビジネス・クリティカルな Web アプリケーションへのすべてのユーザ・アクセスを分析し、アプリケーションとデータをサイバー攻撃から保護します。

¹ Gartner Magic Quadrant for Web Application Firewalls, Jeremy D'Hoinne, Adam Hills, Greg Young, 15 July, 2015

ガートナーは、ガートナー・リサーチャーの発行物に掲載された特定のベンダー、製品またはサービスを推奨するものではありません。また、最高のレーティング又はその他の評価を得たベンダーのみを選択するように勧誘するものではありません。ガートナー・リサーチャーの発行物は、ガートナー・リサーチャーの見解を表したものであり、事実を表現したものではありません。ガートナーは、明示または黙示を問わず、本リサーチャーの商品性や特定の目的への適合性を含め、一切の保証を行うものではありません。



次のThreatRadar機能が使用できます。

- レピュテーション・サービス – 最新でリアルタイムのソース・レピュテーションに基づいてトラフィックをフィルタ
- コミュニティ・ディフェンス – Imperva ユーザのクラウドソーシングによる独自の脅威インテリジェンスを追加
- ボット・プロテクション – ボットネット・クライアントおよびアプリケーション DDoS 攻撃の検出
- アカウント・テイクオーバー・プロテクション – Web サイトのユーザ・アカウントを攻撃や乗っ取りから保護
- 不正防止 – 業界最高のパートナー製不正防止ソリューションの導入を簡素化

Imperva SecureSphereの機能

ユーザおよびアプリケーション挙動の自動学習

Web Application Firewall は、攻撃を正確に検出するために、アプリケーションの構造と要素、そして予想されるユーザの挙動を学習する必要があります。Imperva のダイナミック・プロファイリング技術（特許出願中）は、保護されているアプリケーションをプロファイルし、許容できるユーザ挙動の基準または「ホワイトリスト」を作成することにより、このプロセスを自動化します。また、アプリケーションの変更を自動的に学習します。ダイナミック・プロファイリングにより、無数のアプリケーション URL、パラメータ、Cookie、メソッドを手作業で設定および更新する必要がなくなります。

研究成果に基づくセキュリティ・ポリシー

世界的に有名な研究機関である Imperva アプリケーション・ディフェンス・センタ (ADC) による研究成果に裏打ちされた SecureSphere には、豊富なアプリケーション・シグニチャとポリシーが揃っています。Imperva ADC は、Bugtraq、CVE®、Snort® およびアンダーグラウンド・フォーラムで報告された脆弱性の調査や、一次調査を遂行して、最も新しく最も総合的な脅威インテリジェンスと Web アプリケーション攻撃防御を実現します。

柔軟な導入オプション

SecureSphere は、物理的なアプライアンスとしても、バーチャル・アプライアンスとしても、Amazon Web Services を通じてでも、これらのハイブリッドとしても導入できます。導入は特に、ネットワークを実質的に何も変更せずに SecureSphere を透過的に導入できるという意味において、柔軟性に優れています。加えて、きめ細かいポリシー制御によって、各企業に固有の保護要件と合致した正確で比類のない制御を行うことができます。

強力な脅威インテリジェンス

十分なリソースを持つ今日のサイバー犯罪者から機密データを保護するには、常に進化し続ける Web ベースの攻撃を認識し、それを防御する高度な警告システムが不可欠です。Imperva ThreatRadar² は SecureSphere Web Application Firewall を、世界中からクラウドソースされ、Imperva アプリケーション・ディフェンス・センタによって監修されているリアルタイムの脅威インテリジェンスで更新します。ThreatRadar は、既知の不正なソースからのトラフィックを積極的にフィルタして、セキュリティ・チームが本当に重要な作業に集中できるようにすることで、より強固な保護を提供し、WAF の正確性を高め、セキュリティ・チームの作業効率を向上させます。

仮想パッチ

SecureSphere は、脆弱性スキャナ統合を通じて、Web アプリケーションに「仮想パッチ」を実行できます。仮想パッチを実行すれば、脆弱性が発見されてからコードが修正されるまでの間、数週間あるいは数か月も Web アプリケーションを攻撃にさらしておくことなく、Web アプリケーションを積極的に攻撃から保護し、攻撃にさらされる期間を短縮して、実際にパッチを適用できるまでの緊急修正サイクルのコストを節約できます。

HTTP プロトコル、プラットフォーム、および XML 保護

SecureSphere は、HTTP 標準のコンプライアンスを強化して、プロトコルの弱点を突く攻撃や回避技術を防止します。管理者はきめ細かいポリシーを使用して、RFC 標準の順守を徹底することも、軽微な違反を許容することもできます。8,000 以上のシグニチャにより、アプリケーションおよび Web サーバ・ソフトウェアを含む、アプリケーション・インフラストラクチャ全体を SecureSphere は保護します。柔軟で、自動化された XML セキュリティ・ポリシーが Web サービス、SOAP、HTML 5 Web ソケット、Web 2.0 アプリケーションを保護します。

きめ細かい相関関係ポリシーが誤検出を低減

SecureSphere は、各種セキュリティ・レイヤに対する Web 要求と時間経過の相関関係を比較することにより、一般的ではないいけれども正当性がある挙動を攻撃と区別します。この相関関係攻撃検証機能では、HTTP プロトコルの適合性、プロファイル違反、シグニチャ、特殊文字、ユーザのレピュテーションといった複数の属性を調査して、攻撃に対する正確なアラートを発行するか、ブロックします。誤検出率は業界最低水準です。ThreatRadar 脅威インテリジェンスを属性として含めることができ、そうすることで、グローバルな脅威状況における最新の情報が、ポリシー評価に確実に含まれます。

コンプライアンスと法規制のためのカスタマイズ可能なレポート

SecureSphere には、グラフィカルなレポートを作成する豊富な機能が用意されており、ユーザは、容易にセキュリティ状況を把握し、法規制コンプライアンスを満たすことができます。SecureSphere では、定義済みおよび完全にカスタマイズ可能なレポートの両方が提供されています。そのため、セキュリティ状況を容易に把握し、PCI、SOX、HIPAA、FISMA、その他のコンプライアンス基準の遵守を効率的に実証できます。

攻撃に関する詳細な分析を可能にするモニタリング

アラート通知は容易に検索・ソートすることができ、対応するセキュリティ・ルールに直接リンクされています。SecureSphere のモニタリングおよびレポート作成フレームワークは、セキュリティ、コンプライアンス、コンテンツ配信に関連する懸念を速やかに可視化します。リアルタイム・ダッシュボードは、システム状況およびセキュリティ・イベントのハイレベル・ビューを提供します。

² ThreatRadar 脅威インテリジェンス機能は年間のサブスクリプションで使用可能です。

Imperva SecureSphere のサイバー・ セキュリティ

Imperva SecureSphere は、SecureSphere Web、Database and File Security を含む、包括的で統合されたセキュリティ・プラットフォームです。大企業のデータセンタのセキュリティ要求にも応えられるよう拡張でき、ますます高まる脅威に対して製品の最先端の防衛を行っているワールドクラスのセキュリティ研究機関である Imperva アプリケーション・ディフェンス・センタによって支援されています。



WEBアプリケーション・セキュリティ製品	
SecureSphere Web Application Firewall	オンラインでの脅威に対する的確で自動化された保護
SecureSphere ThreatRadar	既知の悪いトラフィックを検出、フィルタ、およびブロックするための、グローバルでリアルタイムの脅威インテリジェンス
データベース・セキュリティ製品	
Database Activity Monitor	データベースのデータ使用状況に対する完全な監査と可視性を実現
Database Firewall	重要なデータベースに対する使用状況の監視とリアルタイム保護
Database Assessment	データベースの脆弱性診断、設定管理、データ分類
User Rights Management for Databases	機密データベースに対するユーザのアクセス権限のレビューと管理
ADC Insights	SAP、Oracle EBS、PeopleSoft向けの事前定義コンプライアンスおよびセキュリティ・レポートおよびルール
ファイル・セキュリティ製品	
File Activity Monitor	ファイルのデータ使用状況に対する完全な監査と可視性を実現
File Firewall	重要なファイル・データに対する使用状況の監視と保護
User Rights Management for Files	機密ファイルに対するアクセス権限のレビューと管理
Directory Services Monitor	Microsoft Active Directory上の変更に対する監査、アラート、そしてレポート
SHAREPOINTセキュリティ製品	
SecureSphere for SharePoint	SharePointのアクセス権限およびデータ使用に関する可視性および分析、そしてWebベースの脅威に対する保護
管理製品	
MX Management Server	複数のSecureSphereゲートウェイの管理、監視、およびレポート作成を一元的に実行できる単一のインターフェース
Manager of Managers	複数のMX Management Serverと共に設置されている複数ドメインおよび複数テナント環境を連結

株式会社 Imperva Japan

www.imperva.jp

Mail: FM-Japan@imperva.com

TEL: 03-6263-0671